

# 業界・行政ニユース

悟して入職したためさほど気にしていない」という意見も多かった。

愛知県建設業協会は20

魅力など仕事のやりがい

座談会では、建設業の

育児と仕事との両立に

日、技術者や技能者など

を話す一方、休日の少な

魅力として「自分が携わ

については、現場によつて

として地元の建設業界で

さや、子育てとの両立の

ったものが出来上がった

は可能だと考える参加者

活躍している女性たち

難しさなどが課題として

ときに感じる充実感」や

がいる一方、現場が遠方

が、仕事の魅力や、業界

指摘された。

「つくったものが残ること

になるケースがあること

への女性の入職促進につ

同協会による女性就業

との仕事のやりがい」を

や、工期がないと残業が

いて話し合う「建設業女

者の座談会は今回が4回

挙げる声が目立った。ま

増えることなどから、難

性就業者座談

会」を名古屋

愛建協 建設業女性就業者座談会を開催

しさを指摘する

市中区の愛知建設業会館

で開いた写真。5人の

声も聞かれた。

女性が参加。自分がつくったものが将来まで残る

つक्तもの 残ることにやりがい

育児との両立に課題

オプザーバーとして参加した  
国土交通省中部  
地方整備局建政



目。冒頭、同協会の山

川伸次専務理事が、

部の高鍋誠治建設産業調

「とりわけ建設業界は

現場内でのコミュニケーション

整官は、現場で働く女性

若い入職者が少ないこ

がスムーズに進むケース

の声を施策に反映してい

とが課題になってい

が多いことを指摘する意

く意向を述べるとも

る。ぜひ建設業の魅力

見も出た。

に、「特に建設業の社会

や面白さ、やりがい

女性用のトイレや更衣

る」と話し、積極的なア

女性だけでなく、後に

室などの施設の現場への

アイデアの提供を呼び掛け

続く若い人に伝えても

配置については、「あれ

た。

らいたい」とあいさつ

「男社会と覚

て本紙に掲載します」

した。

「座談会の模様は追っ